



川井地域



人口 14,319人



6歳未満児数(率) 762人(5.3%)



世帯数 5,990世帯



高齢者数(率) 2,600人(18.2%)



出生数 144人

川井地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

第1回目 平成16年 9月25日

第2回目 平成16年10月30日

第3回目 平成16年12月11日



支えあい連絡会開催日

第1回目 平成17年 7月14日

第2回目 平成17年 9月29日

第3回目 平成17年12月20日

地域の主な福祉保健活動

- ◆ 子育てサロン(ぽっかぽか)
- ◆ ふれあいレクリエーション大会
- ◆ 演芸懇親会

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。



当面取り組む地域の課題

- 地域によって課題のとらえ方がさまざまであり、地域の情報共有がうまくいっていない
- 地域の独居高齢者・障害者を知る
- 地域の防犯・防災体制

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

お互いの顔が見える安心で心豊かなまち

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

住民同士がお互いに知り合うためのきっかけづくりが必要です。
地域との交流や助け合いのためにも、障害児者が自ら自分の存在をアピールすることなどによって、地域がより一層障害児者やひとり暮らし高齢者のことを知る必要があります。

具体的な取り組み

- 連合町内会で各自治会町内会での活動をまとめてみる
- お互いに知り合い、顔のみえる活動をする



懇談会参加者

連合自治会関係者
民生委員・児童委員
地元企業関係者
ボランティアグループ関係者
中学生
老人会関係者

地区社会福祉協議会関係者
保護司
障害者とその家族
子育てグループ関係者
保健活動推進員

川井地域の

目標 テーマ

お互いの顔が見える安心で心豊かなまち

大切にしたい点

お互いに知り合う・障害児者自身が自分の存在を地域にアピールする
住民同士が知り合うためのきっかけづくりが必要です。
地域との交流や助け合いのためにも、障害児者が自ら自分の存在をアピールすることなどによって、地域がより一層障害児者やひとり暮らし高齢者のことを知ることが必要です。

課題

地域によって課題のとらえ方が
さまざまであり、地域の
情報共有がうまくいっていない

◇地域の情報共有がうまくいくことが必要

地域の独居高齢者・
障害児者を知る

◇地域に住んでいるひとり暮らし高齢者など、
高齢者や障害児者の情報を知りたい

地域の防犯・防災体制

◇地域の防犯・防災体制や治安に不安がある

目標 テーマ

おおらかな信頼関係が遊び場や 交流の機会を紡ぐまち

大切にしたい点

人と人との信頼関係に基づき、地域の目のなかで子ども達の生育環境を育む
子どもを外に出して健全な遊びをさせたいと思う親は多いですが、不審者などの心配事も一方で多くなっています。
地域の中での人と人との信頼関係のなかで、安心できる子どもの生活環境をつくることが求められています。

課題

子どもの遊び場の確保

◇子どもを健全に遊ばせたい

中学校との関わり

◇中学校と地域の関わりで大人との信頼関係が築ける

迷惑行為対策

◇騒音問題などの迷惑行為を何とかしたい

課題、目標テーマ

目標 テーマ

人生の先輩が前向きにチャレンジし続けるまち

大切にしたい点

前向き・努力・チャレンジのある生活

誰もが、「心身ともに健康で人生を全うしたい」と願っています。高齢者の生活に張りがでてくるよう、趣味を活かす場やいろいろな人と話ができる場が必要です。

また、ボランティア活動も負担にならないように、無理をせずにちょっとだけお手伝いできるしくみや、ボランティア活動がお互いの楽しみになるようなしくみが求められています。

課題

高齢者の支援体制

◇高齢者の生活支援体制を整える必要がある

目標 テーマ

汚させない、捨てさせない!地域の意地で 住みよい環境を「当たり前」にするまち

大切にしたい点

誰もが“きれいな場所”に住みたいという当たりの共通認識を守る

自分の周りさえきれいであれば他はどうでもよい、そんな考えが地域の住民を困らせています。きれいな場所に住みたいという共通認識を大切にします。

課題

ごみ集積所・ ごみ捨てのマナー

◇ごみ集積所の配置バランスや数の不足、マナー違反等に困っている

粗大ごみの不法投棄

◇粗大ごみ等の不法投棄が困る

道路環境の改善

◇道路環境が悪くて危険

商業施設が少ない

◇コンビニ等の商業施設が少ない